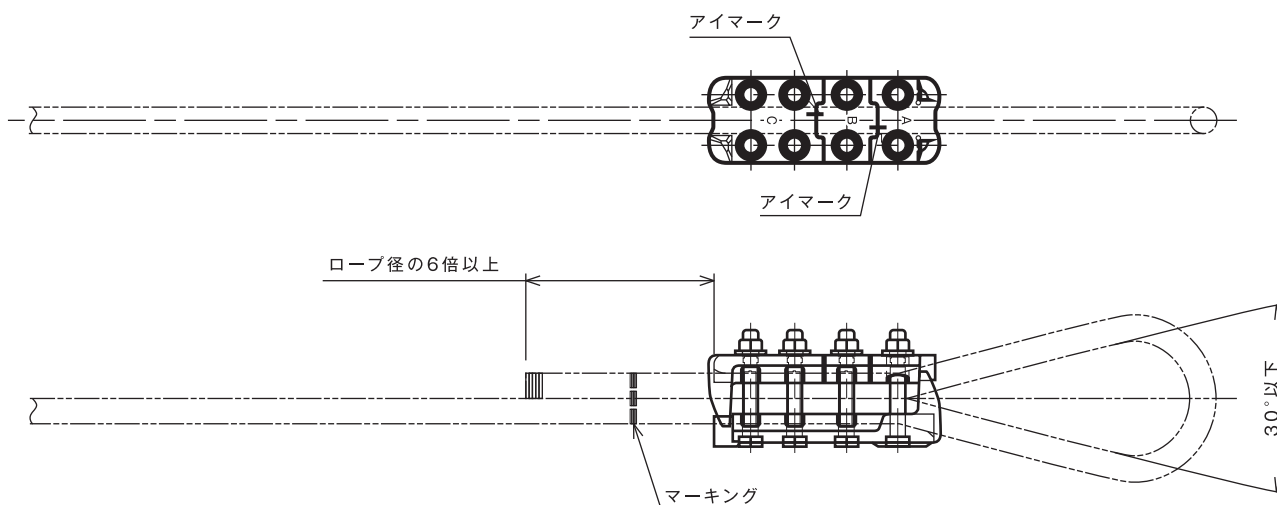


ニッサクワングリップ C 型 組付図および組付時の注意点

■ 組付図

(図は 38 ~ 42 です。その他サイズも同条件となります)



■ 組付時の注意点

- ワイヤロープの径とニッサクワングリップ C 型のサイズが適切であるか確認してください。
- ニッサクワングリップ C 型の取付個数は 1 個で可能です。(使用条件によって異なる場合があります)
- ワイヤロープとクリップ本体の向きを確認し本体自体が傾いていない事を確認して下さい。
- クリップをワイヤロープに組付時は、ワイヤロープとクリップ溝部のストランドが沿うように組付けてください。
(本体下部とワイヤストランドを合わせた際、アイ側にズレが発生しますが本体上部を締めつけていく事によりワイヤが本体溝にあっていき機構になっています。締めつけ後は必ず合っているのかを再確認してください。)
- ワイヤロープ(組付箇所)のごみ等は完全に除去してから組付作業をしてください。
- ワイヤロープのすべり確認用にマーキングを付ける場合は、ニッサクワングリップ C 型組付図を参考にマーキングしてください。
- ナットにも緩み確認・トルク確認のマーキングをおこなってください。
- 曲げ止めのアイ部の角度は 30 度以下になるように取付けてください。
角度が大きい場合、ニッサクワングリップ C 型のアイ側がロープにより広がり本来の性能が発揮できません。
(30 度以上になる場合は絞り込み用の鍛造ワイヤグリップなどが必要となります。)
- 曲げ止め(アイ)作業の場合、グリップの間隔はロープ径の 6 ~ 7 倍にしてください。
- ナットはそれぞれ左右交互に締めて、トルクレンチ等で規定トルクで均等に締めつけてください。
- ツメの方向は、ニッサクワングリップ C 型組付図を参考にしてください。
(ワイヤが滑ろうとする際、本体がツメにあたり滑り止めの役割をしますのでツメの方向は必ずご確認ください。)

■ 取扱いについて

- 長期に使用する場合は、ワイヤロープが伸び、滑りやすくなるため定期的な増締めをおこないトルク管理してください。
- ボルト・ナットは、安全のためニッサクワングリップ C 型専用以外使用しないでください。
- 使用した(規定トルクをかけた)ボルト・ナットは、再使用しないでください。(ネジ部に傷があると本来の性能が発揮できません。)